

CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	飛灰脱塩設備建屋	階数	地上2F
建設地	福岡県北九州市戸畑区牧山5丁目1	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	10人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年11月 予定	評価の実施日	2017年2月20日
敷地面積	10,319 m ²	作成者	南後 孝充
建築面積	2,453 m ²	確認日	2017年3月10日
延床面積	2,913 m ²	確認者	細川 俊夫

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 3
Q3 室外環境(敷地内): 2
LR1 エネルギー: 3
LR2 資源・マテリアル: 3
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.2

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.1

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
<p>ごみ処理場(飛灰洗浄処理)という施設の特徴から、敷地選定・配置計画時に以下の点に配慮した。</p> <p>①市街地の風上を避ける②一般の通行者が容易に立ち入る事のない位置 ③主要搬出入経路は、繁華街又は住宅街を通過しない④付近300m以内に学校、病院、住宅、公園がない</p>		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
<p>執務エリアは、従業員が快適に過ごせるように、採光・自然換気を確保した。また、省エネルギー対策として、エリア別空調および照明制御とした。</p>	<p>執務エリアは、階高の高さを活かし、天井高さを2.7mとし、また、海側へ窓を設ける事で、開放感をもたせている。</p>	<p>一般の通行者が容易に立ち入る事のないように、敷地出入口には、門を設置しており、防犯に対して特に配慮している。</p>
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
<p>運用管理体制を組織し、責任者が指名されている。</p>	<p>環境負荷に配慮し、節水・代替フロン・リサイクル部材を採用した。</p>	<p>主要搬出入経路は、繁華街又は住宅街を通過しない事とし、周辺環境への交通量負荷低減に配慮した。また、北九州市の景観形成誘導地域に該当し、外壁色は条例の規定に則り採用する。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される